

# くりから古戦場 県定公

KURIKARA BATTLEFIELD



●日本最大級の源義仲騎馬像（埴生八幡宮） Statue of Yoshinaka Minamoto no Yoritomo, one of the largest statues in Japan

# 森林の木々の そよぎに 歴史の息吹を 感じる

## 響き渡る 義仲軍関の声

およそ八〇〇年前の 春の夜半  
源義仲が

角に松明をくくりつけた  
牛の群れを先頭に  
この山路を駆け抜け  
平家十万の大軍を破った  
ここが源平の戦に名高い  
『火牛の計』を策した  
古戦場である。

## 万葉の心

越中の国守

大伴家持が京を想い  
芭蕉が旅したくりから峠  
木々の梢をゆらす風に  
耳を澄ますと  
いにしえの夢の声が聞こえてくる

The resounding battle cry of Yoshinaka's army was heard one spring night 800 years ago. Yoshinaka Minamoto tied flaming torches to the horns of a herd of bulls and sent them ahead along the mountain road, routing the 100,000 men of the Heike army. This is the ancient battlefield which was the scene of the famous 'flaming bull' strategy in the battle between the Genji and Heike clans.



●源平礪波山合戦絵図（石川県津幡町竹橋・俱利伽羅神社所蔵）

Illustration of battle between Genji and Heike clans



●埴生護国八幡宮 Hanyu Gokoku Hachimaugu Shrine

源義仲が戦勝を祈願したことで有名。祈願文が今も残っている。約1300年の歴史を有し、国指定重要文化財となっている。

## つわものどもが夢のあと

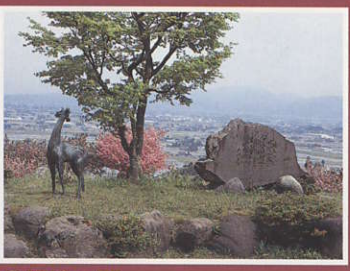
寿永2年(1183)信州の木曾山中で兵を挙げた源義仲は、10万の兵を率いて京都から下った平維盛の軍と俱利伽羅山で対戦。義仲は中国の故事による火牛の計を練り、5月11日の夜半、総勢4万余騎にて一斉攻撃を開始。ほら貝を吹き、太鼓を鳴らし、関の声をあげながら火牛を放って突撃。京都からの長途の行軍に疲れまどろんでいた平軍は、寝ぼけて暗闇の中をあわてふためき、戦意を失って右往左往するばかり。将兵は軍馬もろとも地獄谷の底に駆けこみ落ちて、相い重なって谷を埋めた。その数は1万8千余騎であったと源平盛衰記に記されている。



mounted on hishorse, an



●火牛の像 Statue of flaming bull  
 くりから古戦場猿ヶ馬場のすぐ近く、角に松明をつけた牛が今にも突進しようとする姿に、源平合戦の情景が目に見えかぶ。



●砺波の関 Tonami Barrier Station  
 焼大刀を 砺波の関に 明日よりは守部遣り添へ 君を留めむ (万葉集)  
 越中国守 大伴家持は最高の賓客である東大寺の古聖地使僧平栄らを饗し、その時戦待の歌を詠んだ。



●芭蕉句碑 Stone inscription of Haiku by Basho  
 義仲の 寝覚めの山か 月悲し  
 数々の史跡、句碑も多い古戦場は県定公園にも指定されていて、見どころ、楽しみどころも多い。



●俱利伽羅さん八重桜祭り(4月下旬)  
 かつての源平合戦の地も、春には7000本あまりの八重桜が山々を桃色に染め、八重桜祭りにはたいへんな賑わいをみせる。



●葵塚



●巴塚



●俱利伽羅 源平の郷殖生口 Kurikara-genpeinosato Hanyu Entrance  
 縄文時代からいろいろな役割をはたしてきた俱利伽羅峠について、見て、触れて楽しく学ぶことができる、夢と感動がいっぱいの遊学塾。

歴史国道 北陸道 俱利伽羅いにしへの街道

